

未来への夢と希望の投資戦略

令和5年度 加賀市当初予算最重要事業



加賀市

令和5年度 加賀市当初予算概要

	予算額	前年度比	
全会計の予算総額 (借換債を除く場合)	679億1,900万円 (675億2,654万円)	△15億 200万円 (+ 12億5,266万円)	△2.2% (+ 1.9%)
1 一般会計予算 (借換債を除く場合)	339億8,600万円 (338億8,034万円)	△6億3,800万円 (+ 11億7,576万円) (参考) 地方財政計画の伸び率+1.6%	△1.8% (+ 3.6%)
2 特別会計予算 (5会計)	155億7,540万円	△7億2,310万円	△4.4%
3 企業会計予算 (3会計) (借換債を除く場合)	183億5,760万円 (180億7,080万円)	△1億4,090万円 (+ 8億円)	△0.8% (+ 4.6%)

人への投資・インフラへの投資

●人への投資

- 教育（幼児教育・学校教育）
- 人材育成・リスキリング
- 子育て支援

●インフラへの投資

- 産業集積
- 加賀温泉駅周辺整備
- 住環境



人への投資＝教育（幼児教育・学校教育）

学校教育ビジョン推進事業

新規

予算 135,922千円

「そろえる教育」から「伸ばす教育」へ、一人ひとり、それぞれの可能性を最大限に開花させる教育を推進します。

- (1) 学びを変えるプロジェクト
- (2) 誰一人取り残さないプロジェクト
- (3) 未来は自分で創るプロジェクト
- (4) 地域と一緒にプロジェクト



これからは・・・

「自分のペースで自分で学ぶ」
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」



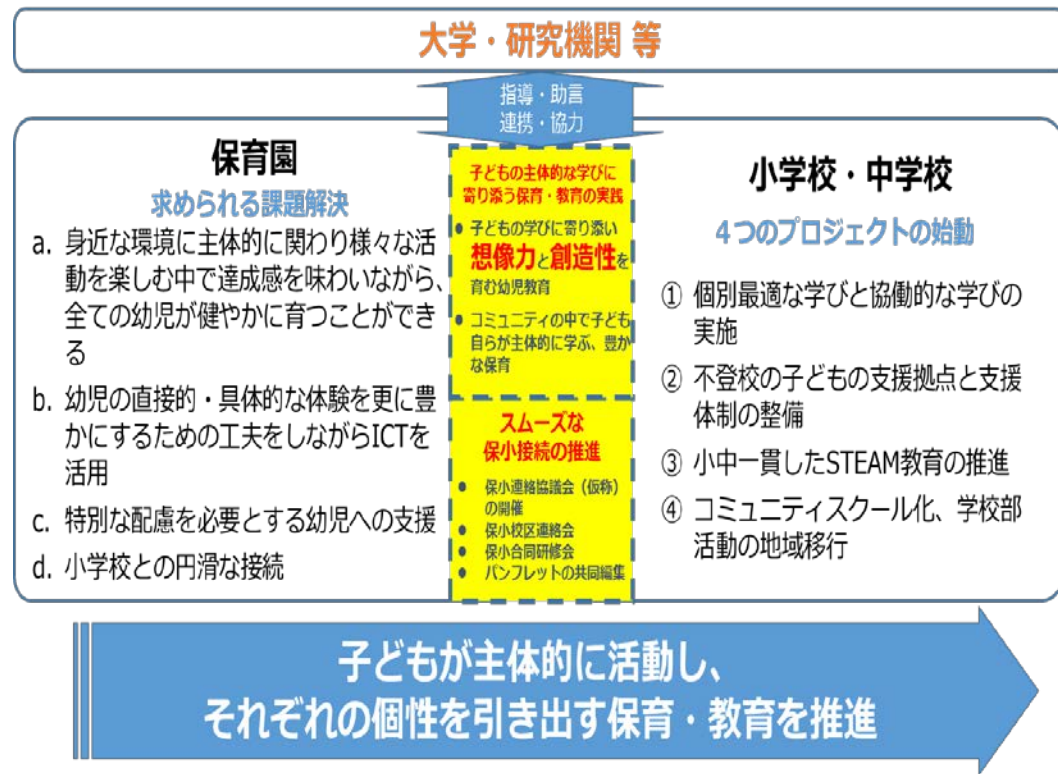
人への投資 = 教育（幼児教育・学校教育）

幼児教育の質向上事業 **新規** 予算 14,294千円

子どもが主体的に活動し、それぞれの個性を引き出す保育・教育を推進します。

実施にあたっては、well-beingを実現する「学校教育ビジョン」のプロジェクトと連携し、幼児期の学びの芽生えを就学後につなげられる体制を整備します。

特色ある保育・教育の推進に向けて



人への投資 = 教育（幼児教育・学校教育）

小中学校施設整備事業

予算 1,542,940千円

児童生徒が安全・安心で快適な環境で学習できるよう小中学校の施設等の整備を行います。

- (1) 東和中学校改築・改修事業
- (2) 特別教室等冷房化事業
(分校小・庄小・山中小)
- (3) 錦城東小学校外壁改修事業
- (4) 片山津小学校屋外運動場改修事業

東和中学校改築・改修事業



人への投資 = 人材育成・リスキリング

人材育成・リスキリング促進事業 **新規**

予算 **101,024千円**

スマートシティの実現に向け、リスキリングに取り組む市内事業者への支援や先端技術に関する講習等を行い、人材育成と新産業の創出を図ります。

「リスキリング」とは、
新しいことを学び、新たなスキルを身につけ実践し、そして別の業務や新分野へ就けるようにすること

スマートシティ加賀構想 ～3つの戦略～

デジタルファースト～データ駆動型のまちづくり～

クリエイティブ～創造的なまちづくり～

スマートシチズン～市民との共創によるまちづくり～

スマートシティの実現の原動力となるプレイヤーとして、クリエイティブクラスやスマートシチズンの育成が必要

知識・技術の
習得機会を提供



知識・技術
の活用



市民・企業・技術者

- ・市内企業の活性化
- ・市内での新たな起業
- ・市外企業の加賀市進出

先端技術に適応できる企業が
集積するまち

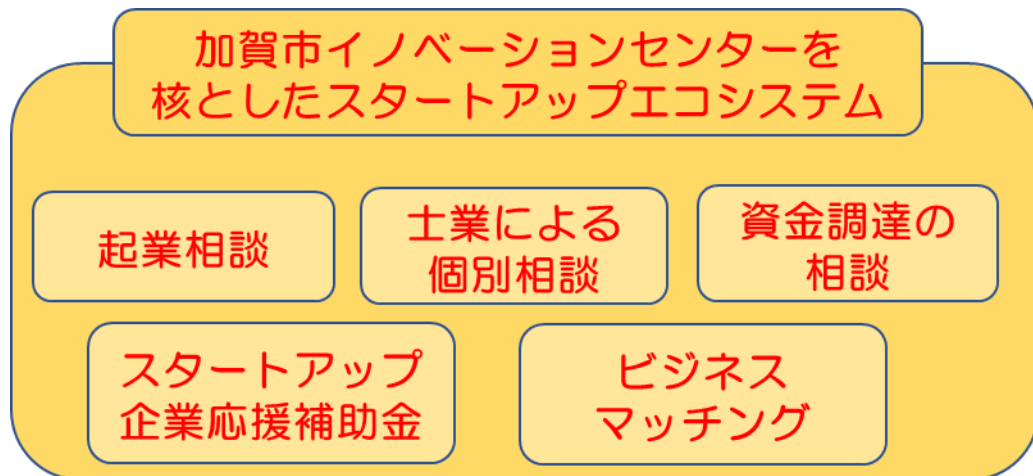


人への投資 = 人材育成・リスキリング

人材育成の拠点事業(コミュニティ形成・スタートアップ支援)

予算 27,499千円

産学官がネットワークを形成し、スタートアップを生み出しながら発展していく「スタートアップ・エコシステム」を構築し、ヒト・モノ・カネが循環するイノベーションの輪を形成します。



- **起業相談**
相談員が常駐し、事業計画の作り方の提案等、幅広く相談を受け付ける。
- **士業の個別相談**
弁護士・弁理士など様々な士業に一气通貫で相談できる体制構築
- **資金調達に関する個別相談**
投資家との繋がりのある、ファイナンスの専門家による個別相談を受け付ける。



人への投資 = 人材育成・リスキリング

THU JAPAN 開催支援事業 予算 5,000千円

国内外のデジタルクリエイターが参加するTHUイベントを開催し、世界のクリエイターが集う日本の拠点となり、市の産業・経済・文化の活性化や企業による新たな産業・サービスの創出を図ります。

【スケジュール】

- ・令和5年5月 記者発表及びレセプション開催
- ・令和5年9月 イベント(4日間)開催



人への投資 = 子育て支援

伴走型相談支援事業 **新規**

予算 67,901千円

妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を充実させます。

- (1) 子育て寄り添いおむつ事業
- (2) 妊産婦の健診等支援事業
- (3) 子育て応援ステーション窓口改修事業
- (4) 妊娠期からの子育て世帯への応援
交付金事業

*子育て寄り添いおむつ事業
児童センター等で保育士等による月1回の
相談支援に併せておむつ等用品のお渡し



人への投資 = 子育て支援

第2子保育料無償化事業

予算 9,574千円

第2子以降の保育料を完全無償化し、子育て世代の負担軽減を図ります。

学校給食費無償化事業

予算 229,712千円

学校給食費の無償化を、引き続き実施することで、保護者の経済的負担の軽減を図ります。



小中学校
給食費
完全無償化

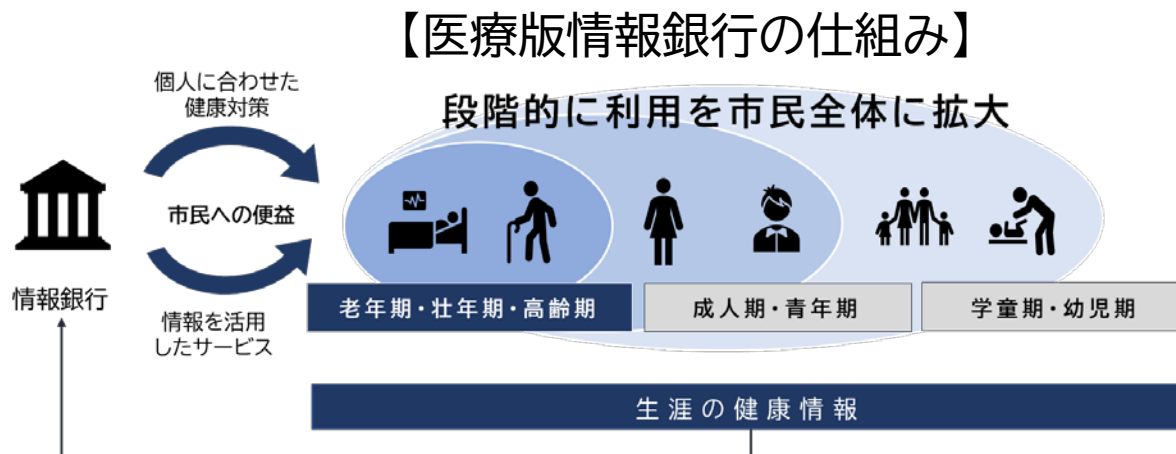
→ 保護者負担の軽減



インフラへの投資 = 産業集積

デジタル田園健康特区推進事業 **新規** 予算 7,800千円

デジタル技術の活用によって、地域における健康、医療に関する課題の解決に重点的に取り組むことで、人口減少、少子高齢化などの地域課題の解決を図ります。



医療版の情報銀行という仕組みにより、健康や医療に関する情報を蓄積・分析・活用することで、市民の健康増進を図ります。



インフラへの投資 = 産業集積

新技術・新産業創出事業

予算 87,371 千円

産業集積を目的とした、先端技術の開発・研究・実験を行えるフィールド提供や環境の整備を行います。

The diagram illustrates the infrastructure and development process for a drone test field. It is divided into several sections:

- 3Dマップ**: Shows a 3D map of a building and a 3D map creation range over a geographical area.
- AI管制プラットフォーム**: Shows a map with a flight route generated between a school and a station.
- 旧緑丘小学校 (ドローンテストフィールド)**: The central location of the test field.
- GPS衛星**: A satellite providing location data.
- 通信インフラ**: A communication tower providing connectivity.
- 飛行テスト**: A drone being tested in the field.
- 開発**: A person working on a laptop, representing the development phase.

【エアモビリティ】
エアモビリティやドローンなどの開発・研究・実験を行えるフィールド提供や飛行環境の整備を行うことで、関連する新規ビジネスや新産業を創出する。

【デジタルツイン】

地図情報や人流などのデータをコンピュータ上に集約し、シミュレーションによる都市状況の見える化・オープンデータ化を行います。

【実証実験サポート】

加賀市をフィールドとして先端技術を活用した実証実験プロジェクトの実施を支援します。



インフラへの投資 = 産業集積

e-加賀市民推進事業

予算 9,250 千円

電子上の市民となる「e-加賀市民」が地域サービスやサポートを受けることができる制度を創設し、継続的な関係人口の創出、将来的な産業集積や移住・定住につなげます。



【目標】

- ・ 関係人口の
300万人創出
- ・ 産業集積・定住



インフラへの投資 = 産業集積

新保北地区産業団地事業

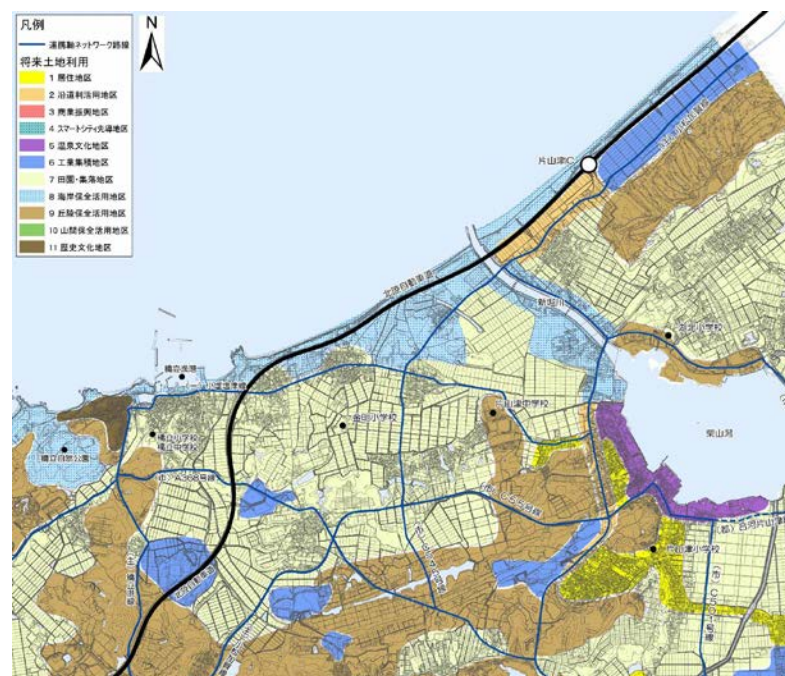
予算 19,000千円

新たな企業ニーズに対応するため、片山津ICから北東側の農地等（約31ha）を順次整備し、企業誘致を図ります。

次世代型産業パーク事業 **新規**

予算 3,850千円

次世代型産業パークの創設に着手し、ビジネスの創出や企業の収益向上、雇用の増加を図ります。



加賀市都市計画マスタープラン改定予定図



インフラへの投資 = 加賀温泉駅周辺整備

加賀温泉駅周辺施設整備事業 予算 1,822,576 千円

加賀温泉駅及び駅前広場を観光客のお出迎えの場、市民の交流の場として整備し、駅周辺の賑わいを創出します。

加賀温泉駅日本海口側広場整備イメージ

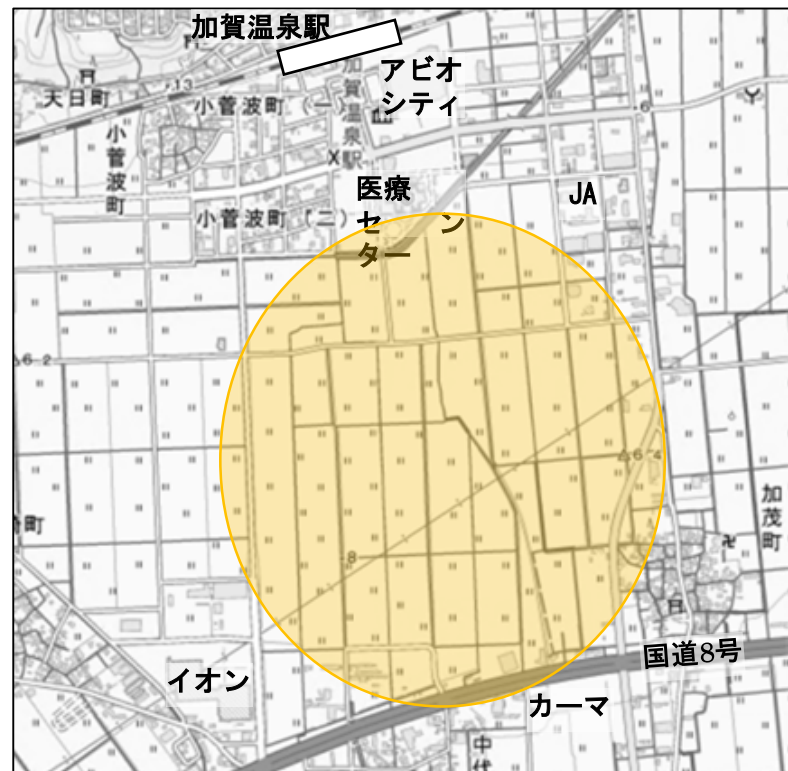


インフラへの投資＝加賀温泉駅周辺整備

未来型商業エリア推進事業

予算 7,000千円

北陸新幹線加賀温泉駅周辺における新たなまちとして、未来型商業エリア等を整備し、若い方々が希望を持ってチャレンジでき、若者や若いファミリーをはじめ、誰もが行きたくなるような、楽しく時間を過ごせる賑わいのある商業施設等の実現を目指します。



インフラへの投資 = 住環境

住宅支援事業

予算 73,180千円

若者の移住・定住を促進するために、住宅供給事業者等とコンソーシアムを結成し、住宅地の開発や、住宅の供給・取得に関する事業を展開します。

- (1) 住宅地開発支援事業 **新規**
- (2) 新婚生活応援事業 **新規**
- (3) 住宅取得助成事業
- (4) 三世代住宅改修等助成事業



インフラへの投資 = 住環境

加賀市版RE100推進事業

予算 11,510千円

再生可能エネルギーの地産地消による地域内経済循環を目指す加賀市版RE100を推進し、地球温暖化の抑制に向けた脱炭素社会の実現を目指します。

- (1) 加賀市版RE100推進協議会活性化事業
- (2) 加賀市版RE100取組モデル事業 **新規**
- (3) 加賀市地産地消具現化プロジェクト事業 **新規**



インフラへの投資 = 住環境

スマートホスピタル推進事業 **新規** 予算 15,650千円

スマートホスピタル

デジタルを活用して加賀市医療センターのスマートホスピタル化を推進し、「患者の利便性向上」「医療サービスの質向上」「医療従事者の負担軽減・業務効率化」に取り組みます。

「PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）アプリ」
画像や検査結果、お薬などの医療情報や通院履歴・予約情報等をスマートフォン等で閲覧できる。また、その情報をかかりつけ医や患者家族・介護者等と共有できる。

オンライン資格確認（顔認証）

顔認証付きカードリーダーを拡充して、市民のマイナンバーカードの保険証利用を促進することで、受付時間の短縮と業務効率化を図る。

今後の展望として、スマホを利用した顔認証受付による**手ぶら受診（保険証、診察券、予約票なし）**導入を目指す。



AI画像診断

大量のX線画像から疑い候補域をAIによって検出し、医師の読影をサポートするシステムであり、医師の負担軽減・業務効率化とともに、ヒトによる見落としを防ぐ等の診断精度の向上を図る。令和5年度は導入科選定調査を実施する。



ARを活用した診療

●音声入力・スマートグラス



●手術ナビゲーションシステム



PHRアプリ

